

## 牡丹餅と『古事類苑』

須磨 千穎

先年春の彼岸のころ、知り人と電車の中で話をしている、「お萩を作りましたか」と聞かれたことがある。「いいえ、買って食べはしましたけど…」というようなことで、お萩つまり萩の餅＝牡丹餅のことがちょっと話題になった。子供の頃郷里で食べた牡丹餅はずいぶん大きかった。握り飯も大きかった記憶があるが、牡丹餅もそれに匹敵する大きさだから、二つも食べればもう腹が膨れすぎるくらいだった。ところで、私たちはそれをもっぱら牡丹餅としか呼ばなかった。お萩という言い方があることは知っていたが、子供心にそれはなんとなく上品に聞こえて「お萩と牡丹餅とはどう違うのだろう」などと思っていた。両者まるっきり同じで、上品なひびきがあるのは元来それが萩の餅の“婦人語”だからだということを認識したのは、ある程度長じてからのことである。

電車の中の話がきっかけで、それまで気にもしたことがなかったのだが、牡丹餅には他にもきつといろいろ異名があるだろう、しらべてみるかとふと思ったものだから、その日帰宅してから書棚の『古事類苑』の頁を繰ってみた。『古事類苑』は人も知る一大百科史料集である（刊本51冊）。牡丹餅に関する史料は、同書飲食部八の餅という分類に草餅・粽・ぜんざいなどとともに入っている。そこには「書言字考節用集」「物類称呼」「世事百談」など計9種類の文献が引かれていて、読んでみると案の定、異名はいくつもあった。ここでは最も包括的な（といってもすべてには及ばない）記述が見られる「物類称呼<sup>四</sup>衣食」の文章を

部分的に引用しよう。

牡丹餅ほたもち又はきのほな又おけき、関西および加賀にてかいもちと云、豊州にてはぎ餅と云、羽州秋田にてなべすり餅と云、下野及越前越後にて餅のめしと云、下総にてがうはんと云、今按に、ぼた餅とは、牡丹に似たるの名にして、中略なりとぞ、萩ののはなは、其制煮たる小豆を、粒のまゝ散しかけたるものなれば、萩のはなの咲みだれたるが如しと也、よつて名とす、かひもちとは、（ママ）上がたにてかいといふ詞は、関東にてつるといふにをなじ、つる餅になる故にかいもちと云、又粥餅也とも云、いかゞ、（中略）又下総の国にては、糯米を焼て煮たるに、小豆の粉を上下に置て、椀に盛りたる物を合飯と云、或は夜舟いふは、いつの間につくともしれぬと云意なり、又隣しらずといふも同じ意なるべし、奉加帳とは、つく所も有つかぬ所も有といふ心也、

短い紙幅が一例とした牡丹餅のことだけで尽きてしまったが、この『古事類苑』という書物、いわば百科事典の親本のようなもので、ずいぶんと役に立つ。編纂に当たった明治の学者たちの気骨と努力には頭のさがる思いがする。大学の図書館ならこれは大抵備えられているはずである。学生諸君、機会があったら繰いて見られるとよい。ただし、便利さの反面そのまま信用すると“誤脱”という落とし穴に落ちないとは限らない。もし卒業論文などで所載資料を使おうという時には、能うかぎり原典にあたることを怠らぬように。

（Chikai Suma: 経済学部教授 須磨千穎）

研究センター紹介第2弾！

# オーストラリア研究センター

今回は、センター長の近藤仁先生と職員の方の岩本睦美さんにお話を伺いました。

## はじめ

南山大学オーストラリア研究センターは社会科学の広い分野におけるオーストラリア研究、及び、研究層の拡大を目的として1986年5月、豪日交流基金の協力のもとに開設されました。

## 参加してみよう

年に数回、講演会やワークショップを開催しており、内外の研究者、学生はもちろんのこと、一般の方々も参加できます。オーストラリアの労働環境、教育制度、法制度から原住民アボリジニの話まで興味深い話題で開催されています。

## 出版物

当センターでは、オーストラリア研究を促進するとともに、オーストラリアに関する研究状況を掲載した『ニューズレター』を毎年刊行しています。また、学術的な研究成果として『レファレンスペーパー』や『ワーキングペーパー』も随時刊行しており、国内外から幅広い分野の研究者から原稿が寄せられています。



資料室

ここにある図書や雑誌は図書館のGEMMA-IIで検索できますし、当資料室内にも端末が設置してあります。貸出しもできます。利用は平日の10:00～16:30です。

新聞は、

『The Australian Financial Review』

『The Australian』

『The Sydney Morning Herald』

があります。

目玉商品！

『CCH』 オーストラリアの法律を研究するには欠かせないもので、特に税法、商法、家族法などの判例が収録されている。

『CDATA』 オーストラリア国勢調査をCD-ROM化したもの。

『Microfiche Collection of Newspaper Cuttings』 オーストラリアの新聞・週刊誌などからテーマごとの切り抜きをマイクロフィッシュ化したもの。



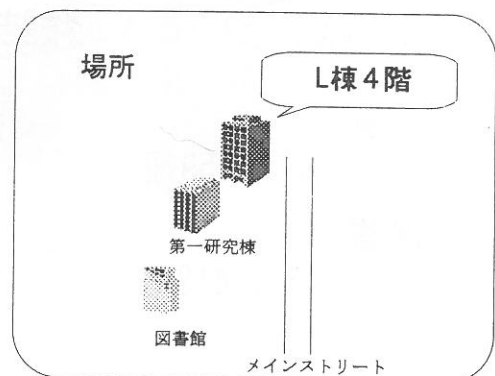
オーストラリア観光案内雑誌、珍しい動物、アボリジニの美術、美しく雄大な自然の写真集、オーストラリアの文化や生活がわかる和書、Australia版の『Time』など、とっつきやすいものもあります。もちろん学術的な本も多く、卒論の参考になる資料もいっぱい。見晴らしもとってもよくて、栄方面から名港西大橋、冬には雪をかぶった山々も見えます！一度センターを尋ねてみてください。ここを知らないなんてもったいないよ。授業の合い間にここを訪れたらあなたもオーストラリア通だよ。

南山大学オーストラリア研究センター

〒466 名古屋市昭和区山里町18

Phone:052-832-3111

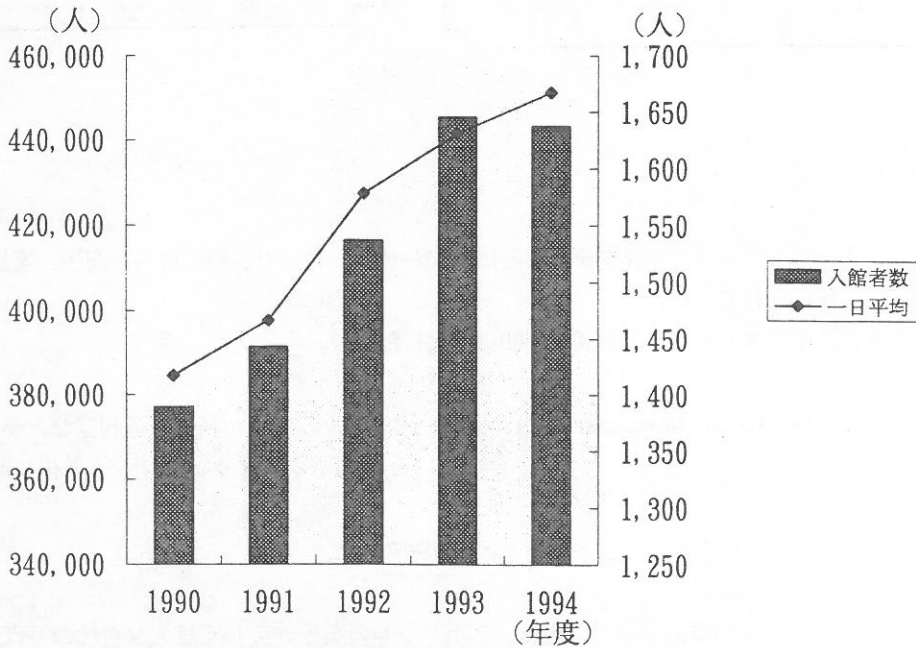
Fax:052-832-5490



# Library Data '94

## 入館者数 443,302人

一日平均 1,667人



## 蔵書冊数 617,477冊

内訳

雑誌タイトル数 12,797

和書 273,059冊

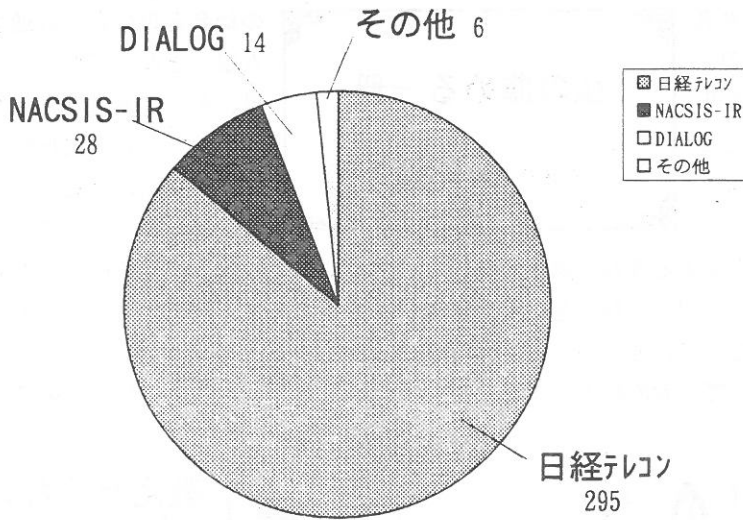
和雑誌 7,481タイトル

洋書 344,418冊

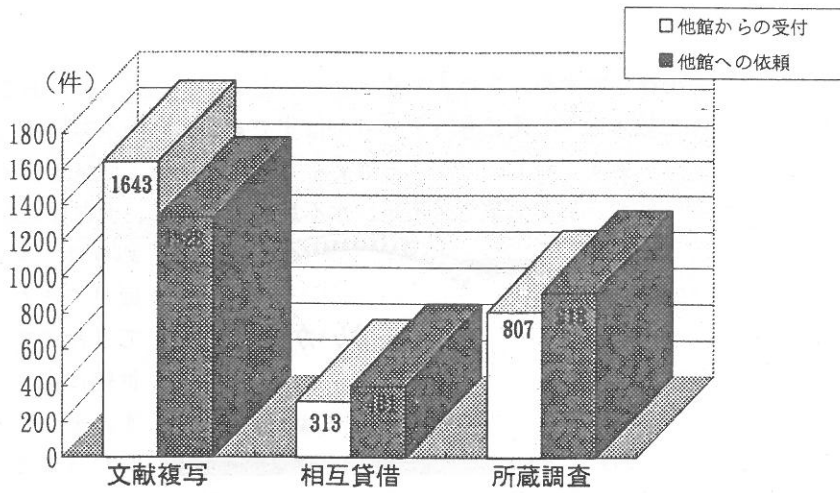
洋雑誌 5,316タイトル



# 情報検索件数 343件



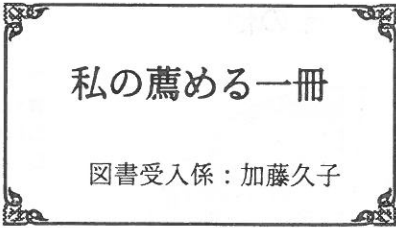
# 相互協力



《資料紹介》

**読**む本を選ぶ時、何を手掛かりにするかと言えば、ベストセラーといって騒がれた本を選ぶか、人に薦められた本を選ぶか、どちらかの場合が多いと思う。そういった意味から言えば、この本は話題になった本である。

お薦めする本は『ワイルド・スワン』（張戒著 土屋京子訳 講談社 1993,【935K/525】）。書名の『ワイルド・スワン』は著者を意味する。副題は「中国の三



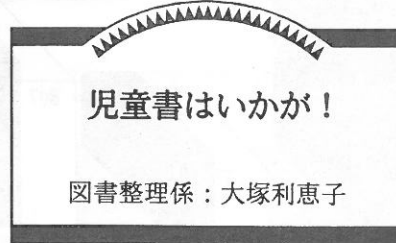
の幼名と母の名に共通する「鴻人娘」となっており、読み進めて母、そして著者自身の女三代記をわかってくる。祖母が住み、母が

て、共産党の高級幹部であった父移って行く。そして、そこでは、一貫して高級幹部の家族の転変する運命が描かれている。中心になるのは、青年時代に毛沢東を崇拝しながらも、文化大革命の中でしだいに疑いをいだく著者自身の姿である。長編であるが、革命の悲劇と家族の愛が理性的に語られていて、読み物として成功していると思う。

女子学生が多いので、敢えて、女流作家による女性自身の本を紹介してみた。勿論、男子学生にも一読を薦めたい。

夏休みに  
お薦め!!の本、  
とっておきの一冊  
教えたくない!

**い**わさきちひろを御存じですか。この人の絵は誰もがどこかで見たことがあるのではないのでしょうか。子どもの時に読んだ絵本のさしえにきっとあったはずです。あわい水彩でとってもかわいい赤ちゃんや子どもの絵を画いています。見ていてフッと微笑んでしまったり、心がほのぼのしてきます。さて、この頃の日本は何か変ですね。異常気象で米不足、水不足をもたらし、大きな地震も起こりました。人



の心もおかしくなったか、いじと異常続き。何だか地球も人も50年きっとみんなつっぱしっ頑張ることも大事だけれど21

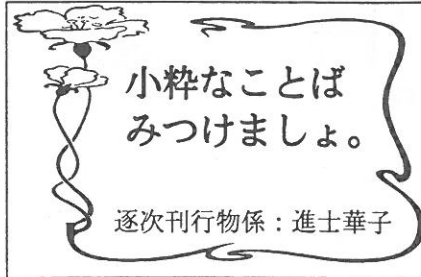
り心を休めてみることも必要で  
め事件、発砲事件、毒ガス事件  
疲れてきたのでしょうか。戦後  
てきたのでしょうか。思いっきり  
世紀に向かってたまにはゆっく  
す。そこであつ〜い名古屋の夏  
いわさきちひろの絵を見て心を

に「読書なんて」という方は、  
柔らかくしてみませんか。また、「ちょっと本を読んでもいいぞ」という方はミヒャエル・エンデの本はいかがですか。『モモ』『はてしない物語』『ジム・ボタンと13人の海賊』など地下1階閲覧室の943Kにあります。児童書の紹介で恐縮ですが、児童書には夢と冒険があって私は好きです。南山の図書館にもありますよ。ぜひ歩いて探してみてください。ちなみにいわさきちひろ美術館は東京練馬区にありますが、1997年春には安曇野にもオープンする予定です。

## 《資料紹介》

## 『とばの花束』 岩波文庫編集部編 【081K/246-A/v.5】

本当のことをいうとこの本を紹介してしまいたくない。なぜなら、この本は、私が友達に贈るカードや手紙に、ちょっと含蓄のある言葉を書き添える時のネタ本だからだ。この本の中には、岩波文庫の名著名作から選ばれた365句の名句が出典とともに収められている。例えばこんな具合に。「恋人として男と女とが違ふ点は、女は一日じゅう恋愛をしていられるが、男はときどきしかできないということである。モーム『月と六ど、私もそう思う。この際、は何か。』なんて考えながら著作の中から切り取ってきた、なんてわかりっこない。それに、その言葉から受けるイメージ独自の解釈や哲学を展開してみ



ペンス』229」...なるほ  
入学試験みたいに「作者の意図  
読むのはやめよう。どうせ長い  
たったの数行で、作者の意図な  
翻訳は所詮翻訳だ。それより、  
を自分なりにふくらませて、独  
てはどうだろう。自分の経験や

理想に照らし合わせて、その言葉の意味が自分の言葉で説明できれば素晴らしい。多少、我田引水風のことじつけになっても、それはそれで結構。決まった答えなどないのだから。

好きな言葉が一つでも見つかったら、ちょっとした心の財産になる。そして気に入った言葉の前後の文脈が気になったら、その時点で原作を読めばよい。独自の哲学はきっと無限に広がっていくことだろう。この夏のひととき、粋な言葉探しをおすすめする。



## &lt;夏期長期貸出のお知らせ&gt;



試験さえ終われば、後は楽しい夏休みが待っています。もう、夏の計画は立てましたか？ 旅行もよし、クラブ活動やバイトに精を出すのもよし。でも、たまには学生時代の有意義な休みを読書三昧で過ごしてみたいかがでしょう。図書館では、夏期の間、特別に長期の貸出をしますので、どうぞご利用ください。

**\*対象：1. 2. 3年**

4年生は卒業貸出がこれにかわります。

**\*期間：7月13日から8月2日まで**

この期間しか長期貸出できません。

例えば7月13日に借りれば9月25日、8月2日に借りれば10月16日が返却期限日となります。

**\*冊数：10冊まで**

【詳しくは、図書館内の掲示をご覧ください。】



ライブラリーカレンダー

1995. 7~1995. 9

7 月						8 月						9 月										
9:00		4:30		6:30		長	書	9:00		4:30		6:30		長	書	9:00		4:30		6:30		書
0:00		6:00		8:00				0:00		6:00		8:00				0:00		6:00		8:00		
1(土)							★	1(火)					☆		1(金)							
2(日)								2(水)					☆		2(土)							
3(月)							★	3(木)					★		3(日)							
4(火)								4(金)							4(月)							★
5(水)								5(土)							5(火)							
6(木)							★	6(日)							6(水)							
7(金)								7(月)					★		7(木)							★
8(土)							★	8(火)							8(金)							
9(日)								9(水)							9(土)							
10(月)							★	10(木)					★		10(日)							
11(火)								11(金)							11(月)							★
12(水)								12(土)							12(火)							
13(木)							☆★	13(日)							13(水)							
14(金)							☆	14(月)					★		14(木)							★
15(土)							☆★	15(火)							15(金)							
16(日)								16(水)							16(土)							
17(月)							☆★	17(木)					★		17(日)							
18(火)							☆	18(金)							18(月)							★
19(水)							☆	19(土)							19(火)							
20(木)							☆★	20(日)							20(水)							
21(金)							☆	21(月)					★		21(木)							★
22(土)	オープンキャンパス						☆★		22(火)						22(金)							
23(日)								23(水)							23(土)							
24(月)							☆★	24(木)					★		24(日)							
25(火)							☆	25(金)							25(月)							★
26(水)							☆	26(土)							26(火)							
27(木)							☆★	27(日)							27(水)							
28(金)							☆	28(月)					★		28(木)							★
29(土)								29(火)							29(金)							
30(日)								30(水)							30(土)							★
31(月)							☆★	31(木)					★									

■:開館時間 長☆:夏期休暇中長期貸出取扱期間  
書★:3・4年次生書庫入庫日(月・木曜 pm1:00~4:30,土曜 am9:00~11:30)

《編集後記》

長期貸出も始まりました。  
今年の夏はおまかせ君に  
おまかせ!!

(タイトルデザイン:加藤富美)



南山大学図書館報 デュナミス No.26  
1995.7.1 発行

南山大学図書館 広報委員会  
編集委員:石井、山口、野村、大野  
〒466 名古屋市昭和区山里町 18  
Tel. 052(832)3707  
Fax(G3) 052(833)6986